

事業番号	04 07 23	事業改善シート（28年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 補正予算案	<input type="checkbox"/> 点検
事業名	多子世帯保育料減免事業			担当課	部局	県民文化部	
					課・局・室	こども・家庭課	
総合5か年計画	プロジェクト	7-2-3 活動人口増加プロジェクト			E-mail	<a href="mailto:kodomo-katei@pref.nagano.lg.jp">kodomo-katei@pref.nagano.lg.jp</a>	
	施策の総合的展開	7-2 子育て先進県の実現 3 子育て支援体制の充実			実施期間	H27 ~	
人口定着・確かな暮らし実現総合戦略	信州創生の基本方針	2-3 若者のライフデザインの希望実現					
	施策展開	1-(2) 信州ならではの魅力ある子育て環境づくり (イ) 子育てに伴う経済的負担の軽減					

1 事業の概要

目指す姿	第3子以降の子どもの保育料を減免することで、少子化の一因ともなっている親の経済的負担を軽減し、理想の子どもの数を持てるようにする。					
現状（予算編成時）	保育所等の保育料については、国の制度として、同一世帯から子どもが複数同時入所している場合、第2子は半額、第3子以降は無料の負担軽減が図られている。しかし、同時入所を要件とする国の軽減措置の対象外となるケースもあり、多子世帯の保護者の経済的負担感が大きい。					
県が関与する理由	県関与の必要性あり 県民との協働による実施：実施は困難	【左記の説明、根拠法令等】 県として少子化対策に取り組むため、その一因である親の経済的負担を更に軽減する必要がある。				
成果目標・事業内容	① 成果目標（H28） 出生数に占める第3子以降の割合の増加 H25:17.6% ⇒ H31:維持・向上					
	② 事業内容 (単位:千円)					
	項目	実施方法	H28実施内容	H28		
				(補正前)	(2月補正)	(補正後)
	第3子以降の保育料減免事業	補助金	市町村が、複数の子どもの同時入所を要件とせずに第3子以降の保育料を軽減した場合に、その軽減に係る経費を助成する。	309,795	△ 32,000	277,795
			合計	309,795	△ 32,000	277,795

事業コスト	区 分(単位:千円)	26年度	27年度	28補正後
	前年度繰越		308,772	
	当初予算			309,795
	補正予算	308,772		△ 32,000
	合計(A)	308,772	308,772	277,795
	Aの財源			277,795
	一般財源			
	県債			
	国庫支出金	308,772	308,772	
	その他	0	0	0
決 算 額(B)		309,795		
概 算 職員数(人)	0.15	0.15	0.15	
概 算 人件費	1,239	1,239	1,239	
概 算 事業費(B(A)+C)	1,239	311,034	279,034	

成果目標の達成状況						
項目	H26末	H27末	H28			H29目標
			目標	成果	達成状況	
出生数に占める第3子以降の割合の増加	17.9 (H26)	17.9	維持・向上			

要求からの主な変更点	要求どおり
------------	-------